

教育研究業績書

2018年11月21日

所属：演奏学科

資格：教授

氏名：柏木 敦子

研究分野	研究内容のキーワード
イタリア歌曲 イタリアオペラ	イタリア語とメロディーの繋がり
学位	最終学歴
芸術学士	東京藝術大学音楽学部卒業。イタリア・パルマ・アリゴ・ボイト音楽院 声楽演奏科 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 声楽演奏研究 I A	2016年4月～	2年次前期に声楽専修の学生を対象にイタリア歌曲の指導を行っている。イタリア語は、日本語と同じ5つの母音を持つ言葉ではあるが、音色の違いを意識し、よりイタリア語の母音に近づくよう指導している。バロックからロマン派の曲を中心に、最後にモーツァルトのオペラのセッコ部分の歌い方の練習をする。
2. 2年次演習	2015年04月～2016年08月	3名の教員による5回ずつのリレー講義の最後5回を担当し、オペラや歌曲の作曲家について、グループに分かれて調べ、パワーポイント等を用いて発表させる。音楽的基礎の再確認とコミュニケーション能力の向上を図り、協働する力を養う。
3. ステージマナー	2013年～	ステージ上でのマナーを学ぶ機会を設けるため、ピアノの教員と合同で特別学期にこの講座を始めた。歩き易いドレスの丈から、歩き方、お辞儀の仕方、伴奏者へ対する舞台上での配慮や立ち居振る舞いを実践し学ぶ。演奏のみならず、立ち居振る舞いを心がけるよう指導する。結果として試験の際、動きにも心を配る学生が増えている。
4. 弾き歌いレッスン	2011年～	教職課程履修者のために、ピアノと声楽の2名の教員から同時に弾き歌いの際の注意事項を指摘される機会を設けている(特別学期)。ピアノと歌を同時に注意されることにより、音楽の双方の繋がりを感じ、一方が直ることで、他方にも影響を与えている。
5. イタリアの作曲家	2010年～	毎年の特別学期に1人ずつイタリア人作曲家を取り上げ、作品、人生、人となりを解説し、今後の演奏の際に役立てる。代表曲を視聴し、授業最後に各作曲家の有名な曲を全員で演奏する。
6. 声楽特別レッスン	2010年～	特別学期に門下を問わず開講し、イタリア歌曲やイタリア語のオペラ・アリアをより深く学ぶ。歌詞のイタリア語の解釈、表現方法を考え、実践する。
7. 主専実技(声楽)	～現在	声楽の個人レッスン。1年次で身体の使い方や腹式呼吸の方法を徹底し、声を出す訓練により歌うための基本を身につける。譜面を正確に読むことに対し厳しく臨み、レッスンの際に譜読み間違いがなく、暗譜も正確に行う癖をつけさせている。これらを行うには、かなりの集中力と練習時間を要するため、成長が著しい。イタリア語の発音に関しても、早い時期に日本語との音色の違いを感じ、イタリア語の母音に近づける耳を養う。また、各学生の能力と個性に応じた曲の選択が重要であるため、かなりの神経を使い選曲している。2016年度「東京国際声楽コンクール 大学生部門」に於いて、全国大会第1位を受賞した学生を指導。インターナショナルな声を育むよう心掛けている。
8. 声楽実技	～現在	“応用音楽学科の学生のための個人レッスンである。独唱に関しては、腹式呼吸と発声を基礎から学び、コンコーネ、イタリア、日本、ドイツの歌曲から知っておくべき曲を学ぶ。弾き歌いは、落ち着いて演奏できるようピアノ、歌の個々の練習を徹底する。”
9. 副専声楽実技(教職)	～現在	教職課程を履修している声楽専攻の学生に対する「弾き

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
10. 声楽特殊研究Ⅳ(専攻科)	～現在	歌い'の個人レッスンである。ピアノが苦手な学生にとって、ピアノを弾きながら歌うという行為は、主専の声楽をも歌えなくしてしまう。そのため、ピアノの基本的な平素からの訓練を促している。ピアノだけを演奏する際よりリラックスの重要性を感じさせ、楽しみながら練習できるよう簡単な曲を数多く毎日練習するよう指示している。指使いの指定により、弾きやすくなることを実感すると、自ら指使いを考えるようになり、演奏しやすさを模索しているようだ。
11. イタリア語表現演習	～2016年3月	専攻科のためのイタリア歌曲の演習科目である。学部より専門的になるため、近・現代の歌曲も含む。学生の声質に合わせ、選曲すると共に、受講生が希望する曲を内容、音楽、技術の面からレッスンする。
2 作成した教科書、教材		
1. 声楽実技での使用楽譜		歌曲の場合は日本の版を用いることもあるが、オリジナル版で、音程、歌詞の割り振り、ブレスの位置等の確認をしている。オペラ・アリアの場合は、必ずスコアを用いている。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 海外研修引率	2018年3月	イタリア・パルマ音楽院教授による研修会(声楽・伴奏ピアノ・サクソフォン)を企画、引率。
2. 特別レッスン 通訳	2017年05月	パルマ音楽院教授R.コルテージ氏による特別レッスンにおいて、通訳を行う。
3. 公開講座 通訳	2017年05月	大阪音楽大学におけるパルマ音楽院教授R.コルテージ氏による公開講座において、通訳を行う。
4. 公開レッスン 通訳	2016年11月	「学内演奏」に於ける本学元教授B.ベクテレフ氏による公開レッスンの際、通訳を行う。
5. 海外研修引率	2015年03月	イタリア・パルマ音楽院教授による研修会(声楽・伴奏ピアノ・ヴァイオリン・クラリネット)を企画、引率。
4 その他		
1. 学科長	2016年04月～	
2. 幹事教授	2014年04月01日～2016年03月31日	
3. 関西音楽大学協会役員	2013年04月～2018年03月	
4. 広報入試委員	2011年04月01日～2014年03月31日	

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
3 学術論文				
その他				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 武庫川アンサンブル		2017年3月4日	武庫川女子大学甲子園 会館	音楽学部主催、教員による演奏会において、團伊玖磨の歌曲を演奏。
2. 没50年山田耕筰特別演奏会		2015年12月	兵庫県立芸術文化セン ター(小ホール)	関西二期会会員による演奏会に出演。
3. 第25回イタリア歌曲の流れ		2015年10月	兵庫県立芸術文化セン ター(小ホール)	関西二期会会員による「20世紀のイタリア歌曲Ⅱ」(イタリア近代歌曲)SPERARE・APPAGARE と題した演奏会をプロデュース。
4. うちでのこづち会コンサート		2015年07月	帝国ホテル大阪 4階チ ャペル	‘～愛唱歌からオペラ・アリアまで～ 歌で世界をめぐる’ と題した演奏会の司会を担当。
5. うちでのこづちコンサート		2013年06月	兵庫県立芸術文化セン ター(小ホール)	元大阪音楽大学教授の喜寿のお祝いコンサートにて、イタリア歌曲を演奏。
6. 「イタリア歌曲の流れ 第21回」		2011年11月	いずみホール	関西二期会演奏会「イタリア歌曲の流れ ドナウディ歌曲全曲演奏」に於いて演奏。
7. オール関西クラシック がんばろう日本! 関西音楽人のちから 届けよう、被災地の子どもたちへ		2011年07月	フェニックスホール	「関西音楽人クラブ」東日本大震災復興支援コンサートに於いて、唱歌「日本の四季」などを演奏。
8. 関西二期会 イタリア歌曲の流れ		2009年11月	いずみホール	関西二期会会員によるイタリア歌曲(古典～現代)の演奏会に於いて、ヴィヴァルディの歌曲を演奏。
9. 須磨浦小学校同窓会		2009年10月	ホテル・オークラ	同窓会のアトラクションで、イタリア歌曲、日本歌曲を演奏。
10. イタリア歌曲研究グループによる推薦コンサート ～バロック～ヴェルディの作品～		2009年06月	兵庫県立芸術文化セン ター(小ホール)	イタリア歌曲研究グループが行った、若い優秀な声楽家の演奏会をプロデュース。
11. 関西二期会 イタリア歌曲の流れ		2008年11月	いずみホール	関西二期会会員による～歌の源流：それはイタリアの歌～に於いて、古典歌曲を演奏。
12. 教員によるSOAI Concert		2008年11月	相愛大学 本町講堂	相愛大学音楽学部声楽専攻の教員による演奏会で、日本歌曲とオペラ・アリアを演奏。
13. 夢空間はしまや オープン10周年記念コンサート		2007年11月	倉敷 はしまや ‘夢空間’	イタリア歌曲、日本歌曲、オペラアリア・デュエットを演奏。
14. 関西二期会 イタリア歌曲の流れ		2007年11月	いずみホール	関西二期会会員による～音の戯れ 1つの詩に2人の作曲家が装いを施すと～と題した演奏会をプロデュース。
15. 関西二期会 日本歌曲の流れ		2007年10月	いずみホール	～平井 康三郎 民謡集「日本の笛」vs 湯山 昭 新しい抒情歌「カレンダー」～に於いて、「カレンダー」を演奏。
16. UNA SERATA DI MUSICA DA CAMERA Part. 12		2007年07月	大阪音楽大学 ザ・カ レッジ・オペラハウス	イタリア歌曲研究グループ主催「トスティの歌曲を集めて」に於いて演奏。
17. 斎藤言子&上山敦子		2007年02月	ピア・ジュリアン	「春への予感...心ときめいて...」と題した演奏会に於いて、日本歌曲、イタリア歌曲、オペラアリア・デュエットを演奏。
18. 関西二期会 日本歌曲の流れ		2006年11月	いずみホール	「山田耕筰生誕120年記念演奏会」に於いて演奏。
19. 関西二期会 イタリア歌曲の流れ		2006年10月	いずみホール	「～古典への扉 セピアの世界へ～ バリゾッティ版を離れて」と題した演奏会をプロデュース。
20. ピア・ジュリアン「実験劇場」パート1		2006年09月	ピア・ジュリアン	歌劇「カルメン」ハイライトに於いて、メルセデス役で出演。
21. 秋篠うたくらぶ 夢いっぱいコンサート		2006年09月	秋篠音楽堂	山田耕筰の歌曲を演奏。
22. 東京藝術大学音楽学部同声会兵庫支部音楽会		2006年03月	神戸市産業振興センタ ー	中村茂隆作曲「見えないだけ」を演奏。
23. 堺シティオペラ X'masオペラシリーズ No. 10		2005年12月	ウェスティ ホール(堺 市立西文化会館)	日本歌曲を演奏。
24. 甲南女子学園 第24回ホームカミングデー音楽会		2005年10月	甲南女子大学 芦原講 堂	世界の名歌、日本歌曲、童謡を演奏。
25. 関西二期会 日本歌曲の流れ		2005年10月	いずみホール	～言葉を綴り、心を奏で、生命を紡ぐ～に於いて、高田三郎の曲を演奏。
26. 関西二期会 思い出のあの歌		2005年07月	いずみホール	わらべうた、唱歌、世界の愛唱歌、みんなの歌を演奏。
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2017年09月、10月	第11回ベートン音楽コンクール近畿地区本選審査員
2. 2017年07月	第19回日本演奏家コンクール1次予選審査員
3. 2016年09月から2018年08月	第8回～第10回東京国際声楽コンクール 地区本選審査員
4. 2015年08月	第16回大阪国際コンクール 大阪地区本選審査員
5. 2015年05月～2018年05月	第18回～第21回 姫路パルナソス音楽コンクール 審査員
6. 2013年05月、2014年05月	姫路「フレッシュコンサート」 公開オーディション審査員
7. 2011年10月	第12回 大阪国際コンクール ファイナル審査員
8. 2011年～2015年	第3回～第7回東京国際声楽コンクール 地区予選審査員
9. 2010年05月	第12回 日本演奏家コンクール 2次予選審査員
10. 1984年～ 現在	関西二期会 会員
11. 1984年～ 現在	イタリア歌曲研究グループ 会員 (現在 幹事)
12. 1984年～ 現在	神戸音楽家協会 会員